



イラン核合意離脱はイスラエルの為？

ところが、昨年5月トランプ政権は、合意から離脱。理由は合意に弾道ミサイルの開発規制が盛り込まれていないからだという。

21世紀初め、米国はイランが原子爆弾用の90%以上の高濃縮ウラン製造を狙っていると疑い経済制裁。イランは医療用アイソトープ生産の平和目的の原子炉用に濃縮ウランの製造を進めていたという。オバマ政権下の2015年、米英仏独中露6か国とイランは、核開発施設の縮小や軍事施設査察などを合意、核物質の製造・蓄積を制限することになった。IAEAの査察でウラン濃縮施設の縮小等が確認され、経済制裁を徐々に解除。これが「イラン核合意」

自国も交えて決めた国際的な取決めを変えるときは、取決め参加国と話し合うもの。トランプは「俺に従え」と合意を反故にし、制裁を開始。イランと取引のある企業も制裁。米国と貿易をする企業はイランと取引できないことになった。特別扱いのイスラエル

トランプの離脱
ところが、昨年5月トランプ政権は、合意から離脱。理由は合意に弾道ミサイルの開発規制が盛り込まれていないからだという。

イスラエルの核兵器保有は確実視されているが国連では米国の拒否権で議題にならない。イスラエルは中東での核優位を保つ為に、イラクで建設中の原子炉やシリアの原子力関連施設を空爆。一方、イラン空爆は他国の領空を飛ぶので出来ない。そこでイスラエル最前線のトランプが問答無用に出たのでは？

あなたはどう思われますか？

東陽橋から

東京都江東区東陽・塩浜間汐浜運河
二〇一九年五月



東陽橋は江東区の陸地と埋立地の間の汐浜運河にかかっている。この運河の右岸が江戸時代の海岸線だそう。明治に入り左岸が埋め立てられた。橋の上から西を眺めると、彼方に東京タワーが見える。この運河を西に進むと、大横川を経て隅田川だ。反対に進むと南に折れ曲がり東京湾。昔は舟運に使われただろうが、今はその面影はない。汚水処理が進み、運河の水はきれいだった。水のきれいな運河とそれに沿った緑。心が和む。運河両脇の潮風の散歩道は、浸水対策として建設されたものだろう。春まだ浅い時期に白木蓮が花を咲かせるという。子連れのお母さん、犬を連れた人、老夫婦など散歩する姿が見えた。

